

とうにょうびょう しんぶん 糖尿病新聞

第6号
2023年2月
発行人：糖尿病
指導検討委員会

とうにょうびょう しって けんさけっか みかた 糖尿病で知っておくべき検査結果の見方

こんかい とうにょうびょう かた むけて さいけつけっか みかた
今回より、糖尿病の方へ向けての採血結果の見方について、
いっしょ まなんで
一緒に学んでいきましょう。

とうにょうびょう ちりょう かかわるけんさこうもく たき
糖尿病の治療に関わる検査項目は多岐にわたります。

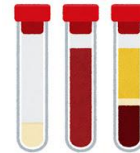
けっとうこんとろーる かかわるすうち 血糖コントロールに関わる数値

けっとう ぐるこーす BS
・血糖(グルコース・BS)



けつえきちゅう ぶどうとう のうど あらわして くのふくじ しょくご2
血液中のブドウ糖の濃度を表しています。空腹時や食後2

じかんち ずいじけっとう さいけつ たいみんぐ さんこう
時間値、随時血糖など採血したタイミングにより、参考とする
すうち ことなります
数値が異なります。



HbA1c へもぐろびんえーわんしー
・HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)

かこ1-2かげつ けっとうち はんえい すうち もくひょうち ここ せってい
過去1-2か月の血糖値を反映した数値。目標値は個々に設定
するのが最近の考え方ですので、主治医に確認してみてください。
さいきん かんがえかた しゅじい かくにん

とうにょうびょう がっぺいしょう じんしょう すうち けつえきけんさ
糖尿病の合併症の1つである腎症の数値も血液検査で
かくにん
確認することができます。

じんきのう かかわるすうち 腎機能に関わる数値

くれあちにん
・クレアチニン(Cre)

じんきのう きんにくりょう しひょう だんせい きんにくりょう おおい すうち
腎機能や筋肉量の指標で、男性は筋肉量が多いため、数値が
たかめ せってい
高めに設定されています。

じんきのう かかわるすうち 腎機能に関わる数値

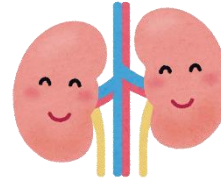
にようそちっそ BUN ・尿素窒素(BUN)



たんぱく質の代謝産物です。特に食事で摂取した、たんぱく質量の指標になります。腎機能が低下すると老廃物の排出ができなくなるため、高値になります。

にようさん UA ・尿酸(UA)

細胞を作る際の成分である、プリン体が分解してできた老廃物で、腎臓から排出されます。腎機能が低下すると、排泄が滞り、高値になることがあります。



eGFR いーじーえふあーる ・eGFR(イージーエフアール)

推定腎機能を表します。血清クレアチニン、年齢、性別で推算し、自分の腎機能が今どの段階にあるのかを確認することができます。



すうちもくひょう とく けつとう かかわるすうちもくひょう ここ
数値目標、特に血糖に関わる数値目標は個々に

せってい おおく
設定されることが多くなっています。

しゅじい そうだん もくひょう せってい
主治医と相談して目標を設定し、

わたしたち いっしょ たっせい
私たちと一緒に達成できるようにしていきましょう！

とうによびょう かんり じゅうぶん おこなわない ほうち じんきのう ていか とうによびょうせいじんしょう
糖尿病の管理を十分に行わないまま放置すると、腎機能が低下してきます。(糖尿病性腎症)

とうによびょうとうせきよ ほうしどう とうによびょう ほう じんきのう ていか そうき はっけん
糖尿病透析予防指導では糖尿病のある方の腎機能の低下を早期に発見し、

じんきのう ていか とうせきどうにゆう よぼう せんんにいし かんごし かんりえいようし
腎機能の低下と透析導入を予防するために、専任医師、看護師、管理栄養士などによる

とうによびょうとうせきよ ほうしんりょうち ーむ ちりょう さぽーと
糖尿病透析予防診療チームが治療のサポートをします。

ないかい しんさつび どうじつ かんごし にちじょうせいかつ しどう
内科医の診察日と同日に、看護師による日常生活の指導、

かんりえいようし しょくじりょうほう しどう おこなって
管理栄養士による食事療法についての指導を行っています。